

60th

鹿児島県印刷工業組合

創立60周年記念式典

平成28年1月29日 城山観光ホテル

歴史

世界歴史遺産 明治日本の産業革命遺産群



歴史と自然
2つの世界遺産
がある鹿児島



世界自然遺産 屋久島

自然



印刷産業人綱領

われわれ印刷産業人は
社会の責任ある一員としてその使命を自覚し
国民生活及び文化の向上に寄与するとともに
産業基盤の強化と限りない発展をめざして

本綱領を掲げる

●
一、われわれは

印刷産業人たるモラルを堅持し、自ら律して行動するとともに
常に地球環境保全と地域社会との連携調和に努める

●
一、われわれは

情報社会の推進者たる誇りを堅持し
優れた技術と積極的な提案を持って顧客に応え
常に有益な製品及びサービスを提供する

●
一、われわれは

たがいにその立場を尊重し、協調と秩序を重んじ
叡智を集め業界発展に尽す



目次

印刷産業人綱領	1
目次	2
式次第	3
式辞	
鹿児島県印刷工業組合理事長 岩重昌勝	4
祝辞	
鹿児島県知事 伊藤祐一郎様	5
鹿児島市長 森浩幸様	6
全日本印刷工業組合連合会 会長 島村博之様	7
鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小正芳史様	8
60周年記念表彰	
組合功労者特別表彰	9
組合功労者表彰	10
歴代理事長プロフィール	11
鹿児島県印刷工業組合のあゆみ	13
2015年の10大ニュース	17
来賓ご芳名	18
友好参加者	18
関連業界ご芳名	19
組合関係参加者	20
賛助会員参加者	20
記念講演会講師プロフィール	21
オープニングアクト	22



創立60周年記念式典・祝賀会

次 第

60周年記念式典 16:00～16:30 パールホール天平 (4F) 司会進行:宮 武 秀 一

開 式		
黙 禱		
国歌斉唱		
印刷産業人綱領宣言	鹿児島県印刷工業組合理事	笹 山 雄 司
式 辞	鹿児島県印刷工業組合理事長	岩 重 昌 勝
来賓紹介		
来賓祝辞	鹿児島県中小企業団体中央会会長	小 正 芳 史 様
表彰状贈呈		
代表謝辞	組合功労者特別表彰	柳 正 保 様
祝電披露		
閉 式		

記念講演会 16:40～17:40 パールホール天平 (4F)

演 題	「努力は実る」
講 師	第36代 木村庄之助 山 崎 敏 廣 氏 (鹿児島県枕崎市出身)

記念祝賀会・年始会 18:00～20:00 ロイヤルガーデン (2F) 司会進行:月 野 るり子

開演あいさつ	鹿児島県印刷工業組合理事長	岩 重 昌 勝
来賓祝辞	鹿児島県知事	伊 藤 祐 一 郎 様
	鹿児島市長	森 博 幸 様
新規加入組合員並びに賛助会員の紹介		
印刷情報産業展について	九州印刷材料協同組合理事長	土 井 健 二 様
乾 杯	日置市長	宮 路 高 光 様
オープニングアクト	西田千穂 & The PLAYERS	
	・Fly me to the moon	・This masquerade
	・My favorite things	他数曲
締めの挨拶	株式会社島津興業取締役相談役	島 津 公 保 様
閉 宴		



ごあいさつ

「60周年を迎えて」



鹿児島県印刷工業組合

理事長 岩重昌勝

平成28年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。組合員、また今年度より新たに新設された賛助会員、そして関連業界の皆様におかれましては平素より組合活動へのご理解とご協力を賜り心より厚く感謝申し上げます。また新春の輝かしいこの日に伊藤鹿児島県知事、森鹿児島市長を始め行政や経済団体、金融機関から多くのご来賓をお迎えして創立60周年の式典・祝賀会を挙げていくことは、関係者一同、大変嬉しく大きな喜びでございます。当工組は昭和30年9月3日に「鹿児島県印刷工業調整組合」として創立しました。13名の有志が発起人となり、設立参加メンバーは117名、従業員総数は1,158名で、未加入は地方の一部の4業者だけであり、ほぼ100%の加入は全国でも例がなく、業界紙「紙と印刷」は「記録的覇業樹立」と報じました。それだけ当時の業界の経営環境や社会情勢が厳しく、新たに発足する組織に大きな期待が寄せられた証であろうと推察します。この間、大きく変化する社会環境と時代のニーズに合わせ、様々な事業を行ってまいりました。そのひとつひとつの積み重ねがあればこそ、今日まで組合組織が永続してこられたのだと改めて感じます。これも偏に歴代理事長をはじめ、役員、組合員の皆様方のご尽力と関連産業の皆様の温かい想いの賜物と心より感謝する次第です。

さて、我が国経済は政府の様々な政策により堅調に推移いたしており、デフレ脱却もあと少しというところですが、ここに来て世界的な原油相場的大幅な下落や

これまで世界経済を下支えしてきた中国経済の減速が景気回復の歩みを止めるのではという懸念が出てきております。それだけでなく中小企業におきましては原材料費の高騰や人手不足による賃金の上昇、そして個人消費の長引く低迷と景気回復への道筋が全く描けない状況が続いております。我々中小企業が実感できる景気回復の実現を一日も早く願う次第でございます。このような中、当組合も60年という節目に組合活動の今後更なる発展と充実を図るために懸案であった様々な課題解決に着手しました。そして組合創立以来の懸案であった鹿児島県の最低制限価格制の導入決定や組合費徴収方法の全面改定、そして関連産業の皆様を組織化する賛助会員制の創設と大きな節目となった今年度に全て実現できました。また情報発信の重要なツールであるウェブサイトをリニューアルして、特に若年層へのアプローチを積極的に進めております。印刷業界では首都圏をはじめとする大都市圏への物的、人的の集中が顕著となっておりますが、地方都市「鹿児島」の住人として「地方創生」や「一億総活躍社会」の実現が期待される所です。結びに、60周年記念式典、祝賀会並びに第38回印刷年始会開催にあたり、ご支援ご協力を賜りました多くの方々に対し、特に本日の南日本新聞朝刊へお祝いの広告を賜りました皆様には深甚より感謝申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りして年頭のご挨拶といたします。



鹿児島県知事

伊藤 祐一郎

鹿児島県印刷工業組合の創立60周年記念式典が、皆様多数御参集のもと盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和30年の創立以来、教育・技術・マーケティング、労務・環境等への対策の推進に積極的に取り組まれるなど、県内印刷業界の振興・発展に御尽力いただいていることに、深く敬意を表します。

現在、我が国は、グローバル化の急速な進展、本格的な人口減少や少子高齢化の進行、地域間格差の拡大、国・地方を通じた厳しい財政状況など多くの課題に直面しています。また、「一億総活躍社会」に向けて緊急的に実施すべき施策や、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の大筋合意を踏まえた実効ある対策などの、速やかな展開が望まれます。

このような時代の大きな変革期を迎える中において、本県の地域特性や可能性を最大限に生かしながら、更なる県勢の浮揚発展を図りつつ、県民一人ひとりが安全な県土の下で生涯安心して働き、安定した生活を送ることができるよう、社会資本の整備、農林水産業や観光をはじめとする諸

産業の振興、雇用の促進、環境問題への対応などの諸問題に対応するとともに、県民生活に直結する医療や福祉、介護、教育などの分野に特に重点を置いて、今後の施策を進めることが重要であると考えております。

また、時代の状況変化に的確に対応しながら、「かごしま将来ビジョン」やマニフェストに基づき、「子どもからお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会」の形成を目指し、引き続き、「力みなぎる・かごしま」、「日本一のくらし先進県」の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様の御理解と一層の御支援をお願いいたします。

貴組合におかれましては、創立60周年を契機に、更にお互いの力を結集され、印刷・情報産業の基盤確立と本県経済を支える原動力になられることを期待しております。

終わりに、鹿児島県印刷工業組合並びに組合員各企業のますますの御発展と皆様の御健勝・御活躍を心からお祈り申し上げます。



鹿児島市長

森 博幸

平成28年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、鹿児島県印刷工業組合が創立60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和30年の創立以来、事業活動を通じた地域経済の発展や文化の振興に大きな役割を果たしてこられましたことに深く敬意を表しますとともに、かねてから市政の各方面にわたりご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、我が国は、人口減少・少子高齢化という時代の大きな転換期にあり、現在、国と地方が一体となって地方創生の取組を進めております。さらに、国においては「一億総活躍社会」の実現に向け、「希望を生み出す強い経済」など各方面からの取組により、国民一人ひとりの安心感の醸成、経済の好循環を図るための対策を進めようとしております。

本市においても、昨年12月に「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところであり、今後、この戦略に基づく施策を着実に推進

することで、真の“豊かさ”を実感できるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

中でも、出生率の向上と若い世代の大都市等への流出抑制は、人口減少問題の克服に向けた取組として重要となります。そのため、若者の就業支援や、結婚を希望する人たちへの支援など、結婚・出産・子育ての多様なニーズに対応するとともに、クリエイティブ人材の誘致やインキュベーション施設の機能強化等に取り組み、地域における魅力的で安定した雇用の確保、商工業の更なる振興を積極的に推進してまいります。

皆様方におかれましては、これまで長きにわたり培ってこられた高い技術力や企画・発想力を十分に発揮され、地域経済や文化振興の牽引役として一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、貴組合がこのたびの節目を新たな出発点として益々発展されますことと、組合員の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。お祝いの挨拶といたします。



全日本印刷工業組合連合会
会長 島村 博之

創立60周年を迎えられた鹿児島県印刷工業組合に対し、衷心よりお祝いを申し上げますとともに、今日まで鹿児島県印刷業界の振興、発展ならびに組合運営に献身的にご尽力された諸先輩各位をはじめ、役員、組合員の皆様に対し深甚なる敬意を表するものであります。

顧みますと、貴工業組合が設立されました1950年代は、全国各地で調整事業への取り組みが開始され、当時低迷していた印刷料金の適正化を図ろうとした時代でした。その後、中小印刷業界においては、1970年代に入ると規模等適正化構造改善事業として、写植・オフセット化を目指した「スクラップ・アンド・ビルド計画」の実施、1980年代には、知識集約化構造改善事業として、印刷機の多色化を目指した「新技術開発事業」の推進、1990年代に入ると経営計画、市場調査、電子編集、営業強化を目的とした経営戦略化構造改善事業を、1993年からはDTP化、デジタル印刷、自動版付、需要創出を目的とした経営環境適応型構造改善事業に全力を傾注してきました。

さらに、中小企業近代化促進法から中小企業経営革新支援法に大きく舵取りが変わった1999年を境にして、2000年には共創ネットワークで新産業への発展を期した「全印工連2005計画」を、2004年には「全印工連2008計画-業態変革推進プラン」を、2008年には「全印工連2010計画-業態変革実践プラン」を、さらに2010年には「産業成長戦略提言-ソリューション・プロバイダーへの進化」を発表するなど、次々と中小印刷業界の将来ビジョンを掲げ、全国の印刷工業組合のご協力をいただきながら、中小印刷業界の安定と発展のた

めに邁進してまいりました。

このように時代の変化に合わせ、数多くの施策を立案、推進してまいりましたが、全印工連ではさらなる前進を期して、2013年秋に2020年までの印刷産業の将来像を予測し、印刷会社が進化し得る方向性を指し示した「印刷道-ソリューション・プロバイダーへの深化」を発表し、さらに今年、2025年の「印刷産業の再定義」に向け、印刷産業が地域創生の実現を担い、日本全国の地域プラットフォームになることを目指す新しい成長戦略「印刷産業新成長戦略2025計画」を発表する予定です。

印刷産業は、今日においても社会・文化の一翼を担う非常に重要な役割を果たしています。人々の生活を彩り、潤いある豊かな暮らしを実現する、この長年に亘って受け継がれてきた素晴らしい「印刷産業のアイデンティティ」を、私たちは次の世代にきちんと引き継ぐ責任がありますし、また、日々変化する社会や地域のニーズに対して、的確で魅力的なソリューションの提供を可能とするのも、私たちの印刷産業に他なりません。

この創立60周年を機に、これからも日本を社会・地域・文化・情報という様々な側面から支え続けるという大きな気概と、多くの人々に夢と力を与えることの出来る印刷産業人としての誇りを再確認していただければ幸いに存じます。

おわりに、60周年記念式典にあたり、表彰を受けられました方々に対しまして、永年のご功績とご努力に衷心より深い敬意を表するとともに、組合員の皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げて、お祝いのことばといたします。



鹿児島県中小企業団体中央会
会長 小正 芳史

平成28年の新春を迎え、謹んで心からお慶びを申し上げます。

このたび、鹿児島県印刷工業組合が創立60周年を迎えられ、記念式典が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、日頃より中央会の事業推進につきまして、格別のご理解、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。併せまして、昨年12月の本会創立60周年記念式典に際しましては、多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和30年12月に鹿児島県印刷工業調整組合として設立され、以来60年の永きにわたり、組合員企業の経営改善や印刷技術の向上などに取組み、本県印刷業界の振興・発展に大きく貢献してこられました。

これもひとえに歴代理事長をはじめ、役員・組合員の皆様方のこれまでのご尽力とご労苦の賜物と深く敬意を表します。

さて、わが国経済は、政府の経済政策が景気を下支えし、デフレ脱却まであと一息のところまできているとの見解が示されております。しかしながら中小企業におきましては、長引く個人消費の低迷に加え、原材料価格の高騰や人手不足など、景気回復の実感が得られないのが実情であります。また、軽減税率の導入やTPPの大筋合意など、今後予断を許さない状況が続いております。

このような中、政府は「新・三本の矢」を掲げ、「地方創生」や「一億総活躍社会」の実現に向けて様々な政策の推進を図っており、今後、実効ある中小企業施

策の実現が期待されるところであります。

本会におきましても、従来の組織化支援に加え、平成25年から「ものづくり補助金」の地域事務局を担当し、県内の中小企業約400社に対して、総額33億円近い設備投資を支援させていただきました。

これからも「組合と共に明日を拓く中央会」の理念の下、組合並びに中小企業の活性化と地域経済の振興、発展に全力で取り組んで参ります。

貴業界におかれましては、IT技術の進展やメディアの多様化等により、熾烈な低価格競争に直面し、極めて厳しい経営環境が続いております。このような中、貴組合の地道な活動により、鹿児島県庁発注の物件について「最低制限価格制度」が導入されましたことは、組合の存在価値と可能性を再認識する上で、極めて大きな意義があります。

今後とも、相互扶助の精神の下、組織の力を発揮し、多様化する顧客ニーズや社会的要請に的確に応え、サービスの差別化、高付加価値化の実現に向け、組合員一丸となって取組まれることをご期待申し上げます。

今年は60年ぶりの「丙申（ひのえさる）」であり、「企業の努力が実り、成熟に向かっていく年」とも言われております。

昭和31年の「丙申」は「もはや戦後ではない」と謳われ、高度経済成長期へと向かい始めた年でした。今年の「丙申」が、中小企業にとりまして新たな時代を拓く「挑戦」の年となりますとともに、皆様方にとりまして希望に満ちあふれた素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

創立 60 周年記念表彰

組合功労者特別表彰



柳 正保

昭17年3月新潟県生まれ。測上印刷(株) 代表取締役会長。鹿児島印刷工業団地協同組合副理事長。【団体歴】昭47～51年、県印工組理事。昭51～53年、専務理事。平成2～6年、副理事長。平成10～22年、第八代理事長。平成15年、「かごしま印刷史」南日本出版文化賞受賞を祝う会開催。平成20年、「全日本印刷文化典in鹿児島」主幹。平成10～22年、全印工連理事。平成16～22年、九印協副会長。平成21～25年、鹿印刷工業団地協同組理事長。平成18年～、県中小企業団体中央会副会長。【表彰歴】平成14年、全国中央会会長表彰。平成16年、経産大臣表彰。平成18年、日印産連印刷振興賞。平成18年、全印工連功労表彰。平成21年、藍綬褒章受章。



岡崎 継義

昭和14年2月27日鹿屋市生まれ。株式会社新生社印刷 名誉顧問。【団体歴】昭和53年～、鹿児島県印刷工業組合副理事長。平成10年～、鹿屋商工会議所会頭。平成10年～、鹿屋市防衛協会会長。平成10年～大隅経済地域開発推進協議会会長。【表彰歴】平成元年、全日本印刷工業組合連合会組合功労者賞表彰。平成5年、鹿児島県中小企業団体中央会組合功労者表彰。



二之宮 武

昭和17年5月21日生まれ。日進印刷株式会社 会長。県印刷工業組合理事。【団体歴】平成4年、県印刷工業組合理事就任、現在に至る。平成5年、鹿児島印刷工業団地協同組合理事就任。平成13年～17年、鹿児島印刷工業団地協同組合副理事長就任。平成17年～21年、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長就任。平成21年～鹿児島印刷工業団地協同組合理事就任、現在に至る。【表彰歴】平成14年、全印工連表彰。平成15年、県印刷工業組合表彰。平成17年、鹿児島県中小企業団体中央会表彰。

組合功労者表彰

前田 城輔



昭和36年10月15日生まれ。株式会社朝日印刷 代表取締役、鹿児島県印刷工業組合理事。【団体歴】平成14年～、鹿児島県印刷工業組合専務理事。平成22年～、鹿児島県印刷工業組合副理事長。平成24年～、鹿児島県印刷工業組合理事。現在に至る。【表彰歴】平成23年全印工連

益山 正義



昭和23年4月18日鹿児島市生まれ。株式会社益山印刷 代表取締役。県印刷工業組合副理事長。【団体歴】昭和50年5月～、全日本印刷工業組合連合会(印刷業各種調査モニター企業委嘱2年間)。平成2年4月～、県印刷工業組合監事(兼 金融委員長)。平成6年4月～、理事。平成10年4月～、専務理事。平成20年4月～、副理事長。【表彰歴】平成12年、全日本印刷工業組合連合会組合功労者表彰。平成17年、鹿児島県中小企業団体中央会組合功労者表彰

前田 幸一



昭和27年8月22日薩摩川内市生まれ。平成19年濱島印刷 株式会社 代表取締役社長。【団体歴】平成20年6月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事。平成21年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合専務理事。平成23年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合副理事長。平成20年～、鹿児島県印刷工業組合理事。平成22年～、鹿児島県印刷工業組合副理事長。平成25年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。現在に至る。

岡崎 洋人



昭和40年9月19日鹿屋市生まれ。株式会社新生社印刷 代表取締役社長。【団体歴】平成14年～、鹿屋青年会議所専務理事。平成15年～16年、鹿屋青年会議所副理事長。平成22年～、鹿児島県印刷工業組合理事。平成24年～現在、鹿児島県印刷工業組合副理事長。

歴代理事長プロフィール



初代理事長（県印刷工業調整組合） 馬場 泰蔵氏

昭和30年12月～昭和31年4月（5ヵ月）

明治37年1月20日鹿児島市生まれ。昭和22年8月文進社印刷株式会社代表取締役社長就任。【団体歴】昭和25年4月～、県印刷同業組合理事。昭和29年4月～、県印刷同業組合理事長。昭和30年12月～、県印刷工業調整組合理事長。昭和45年4月～、県印刷工業組合顧問。【表彰歴】昭和15年4月、支那事变行賞により勲六等旭日単光章受章。昭和20年8月、任陸軍大尉、同年9月1日付、正七位に叙せられる。昭和47年4月、黄綬褒章受章。昭和47年5月、全印工連顕彰。昭和52年11月、勲五等瑞宝章受章。昭和60年11月25日逝去



第二・四代理事長 淵上 晋氏

昭和31年4月～昭和36年5月（5年） 昭和39年6月～昭和47年5月（8年）

明治40年1月12日串木野市生まれ。昭和23年9月淵上印刷株式会社代表取締役社長就任。【団体歴】昭和22年5月～、鹿児島印刷協同組合理事。昭和27年5月～、県印刷工業調整組合理事長。昭和31年4月～県印刷工業調整組合理事長。昭和33年8月～、40年6月～、県印刷工業組合理事長。昭和43年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。昭和35年5月～、41年5月～、全印工連理事、のち常務理事。昭和33年5月～、43年5月～、県中小企業団体中央会理事、のち常任理事。【表彰歴】昭和45年5月、県中小企業団体中央会組合功労者表彰。昭和48年5月、全印工連表彰。昭和52年11月、勲五等瑞宝章受章。昭和53年9月28日逝去。



第三代理事長 榊 利徳氏

昭和36年5月～昭和39年5月（3年）

明治33年4月15日開聞町生まれ。昭和22年3月、企業組合榊印刷所を創業。【略歴】陸士34期。昭和7年、中隊長として満州、熱河作戦に参加。支那事变では混成第十二旅団参謀、昭和17年第五十一師団作戦参謀として広東からガダルカナル島に駆逐艦で向かう。上陸直前、米艦隊との戦闘で引き返し、ニューギニアのラバウルへ派出。マラリアに悩み、陸士教官として昭和17年8月帰国。終戦直前は歩兵第四百二十四連隊長として薩摩半島の防衛にあたる。四十五連隊長（中佐）として終戦。【団体歴】昭和36年5月～39年5月、県印刷工業組合理事長。昭和58年1月12日、千葉市にて逝去。



第五代理事長 二宮 桂一郎氏

昭和47年5月～昭和57年5月（10年）

大正6年5月1日ソウル生まれ。昭和26年5月1日日進印刷株式会社代表取締役社長就任。昭和62年5月1日、日進印刷株式会社代表取締役会長就任。【団体歴】昭和30年12月～、県印刷工業調整組合理事。昭和47年6月～、県印刷工業組合理事長。昭和47年5月～、全印工連理事、常務理事。昭和43年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。昭和52年6月～、九州地区印刷協議会副会長。昭和47年6月～、県中小企業団体中央会理事。【表彰歴】昭和43年10月、全印工連表彰。昭和51年5月、県中小企業団体中央会組合功労者表彰。昭和55年10月、中小企業庁長官印刷業界功労者表彰。昭和56年4月、中小企業功労により藍綬褒章受章。昭和63年4月、勲五等双光旭日章受章。平成6年5月1日逝去。



第六代理事長 中谷 良信氏

昭和57年6月～平成2年5月（8年）

大正11年2月1日鹿児島市生まれ。昭和25年3月第一印刷合資会社代表社員就任。県印刷工業組合理事。【団体歴】昭和30年12月～県印刷工業調整組合専務理事。昭和33年8月～、県印刷工業組合専務理事。昭和39年6月～、県印刷工業組合副理事長。昭和57年6月～、県印刷工業組合理事長。昭和57年6月～、全印工連理事。昭和58年5月～、県中小企業団体中央会理事、のち常任理事。昭和48年5月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。昭和57年7月～、九州地区印刷協議会理事。【表彰歴】昭和55年5月、県中小企業団体中央会永年組合功労者表彰。昭和56年5月、全印工連組合功労者表彰。昭和62年11月、中小企業功労により藍綬褒章受章。平成4年11月、勲五等瑞宝章受章。



第七代理事長 濱島 重徳氏

平成2年6月～平成10年5月（8年）

大正12年3月25日鹿児島市生まれ。昭和34年1月、浜島印刷株式会社代表取締役社長就任。県印刷工業組合理事。【団体歴】昭和35年6月～、県印刷工業組合監事。昭和43年6月～、県印刷工業組合副理事長兼理事長代行。平成2年6月～、県印刷工業組合理事長。昭和57年6月～、鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。平成2年6月～、全印工連理事。平成2年5月～、県中小企業団体中央会理事、のち常任理事。平成5年6月～、九州地区印刷協議会副会長。【表彰歴】昭和55年5月、県中小企業団体中央会功労者表彰。昭和56年5月、全印工連組合功労者表彰。昭和60年10月、九州通産局長組合功労者表彰。平成2年9月、中小企業団体九州大会組合功労者表彰。平成6年9月、中小企業団体組織法施行35周年通産産業大臣表彰。平成8年11月、勲五等瑞宝章受章。平成24年4月23日逝去。



第八代理事長 柳 正保氏

平成10年6月～平成22年5月（12年）

昭和17年3月新潟県生れ。淵上印刷(株)代表取締役会長。鹿児島印刷工業団地協同組合理事長。【団体歴】昭和47～51年、県印工組理事。昭和51～53年、専務理事。平2～6年、副理事長。平成10～22年、第八代理事長。平成15年、「かごしま印刷史」南日本出版文化賞受賞を祝う会開催。平成20年、「全日本印刷文化典in鹿児島」主幹。平成10～22年全印工連理事。平成16～22年、九印協副会長。平成21～25年、鹿児島印刷工業団地協理理事長。平成12～27年、九州印刷工業厚年基金理事。平成18年～、県中小企業団体中央会副会長。平成16～24年、県労働委員。【表彰歴】平成14年、全国中央会会長表彰。平成16年、経産大臣表彰。平成18年、日印産連印刷振興賞。平成18年、全印工連功労者表彰。平成21年、藍綬褒章。平成24年、厚労大臣感謝状。



鹿児島県印刷工業組合のあゆみ

- 昭和30年12月1日 鹿児島県印刷工業調整組合創立。中小企業団体の組織に関する法律施行を受け、昭和33年8月8日、鹿児島県印刷工業組合に改組し、現在に至る。
- 昭和39年4月 中小企業近代化促進法による構造改善事業開始。昭和40年代には全印工連主導による「社会に奉仕する印刷セール」事業を展開し、業界として社会還元を行った。
- 昭和43年10月20日 山下町の鹿児島県市町村自治会館にて、明治百年の記念すべき日に創立10周年記念式典を挙行。
- 昭和44年1月 「活字よさようなら コールドタイプよこんにちは」のスローガンのもと、業界団体主導の近代化が加速された。
- 昭和49年12月 第一次オイルショックによる用紙、インキ、版材などの印刷資材不足が業界に打撃を与え、組合は数次にわたる決起大会の開催や経営改善努力に奔走。
- 平成8年 30年来の懸案であった県営印刷局廃止運動では、街頭署名活動、意見広告掲載、決起大会、陳情攻勢などを行い、当局の理解・配慮により廃止が決定され、終止符が打たれた。バブル経済崩壊とともに、年5次にわたる用紙価格高騰に対応、値上げ阻止運動などを展開した。
- 平成11年9月11日 新装になった鴨池新町の鹿児島県市町村自治会館にて、創立40周年記念式典を挙行し、祝賀会を行った。記念講演会、印刷文化財保存、創立40周年記念誌刊行を期す3事業を記念とした。

創立40周年以降の主な動き

- 平成11年8月～ 記念誌編集作業進む。内容は学術文献化を指向。
- 平成12年4月 40周年記念事業のうち、組合記念誌刊行計画案が理事会にて承認される。
- 平成15年1月12日 赤崎義則鹿児島市長ほかをお迎えし、「かごしま印刷史」出版祝賀会を兼ねた年始会をリバティクラブで開催。
- 平成15年5月 「かごしま印刷史」、地域社会の発展と地方文化の向上に尽くした図書に贈られる南日本出版文化賞受賞決定。
- 平成15年9月3日 鹿児島大学永田行博学長ほか、各界各層の方々をお迎えし、高柳毅氏著「かごしま印刷史」南日本出版文化賞受賞を祝う会、城山観光ホテルにて開催。
- 平成13年度～ 全基連の指導を受け、職場の安全衛生面の底上げを狙いとした3カ年事業、「たんばば計画」に参画、3カ年にわたる事業を推進した。
- 平成16年度～ 雇用・能力開発機構の指導を受け、3カ年の「中小企業人材確保推進事業」を実施。この事業により、印刷営業士47名誕生など、多大な成果。
- 平成15年度 全基連の指導を受け、長期(L)休暇制度基盤整備事業を実施。
- 平成17年3月 九州地区印刷協議会開催ホスト引き受け。福岡工組から同県庁の最低制限価格制度導入決定が報告される。高校サッカー単独日本一を達成した鹿児島実業高校松澤総監督の特別講演も行われた。
- 平成17年9月 ゴルフ同好会が組合主催に昇格し、50回を記念して人吉市で開催。
- 平成17年7月 地域印刷業界による「鹿児島県印刷産業政治連盟」を設立、県選挙管理委員会に届け出。
- 平成17年11月 鹿児島県における印刷物調達の契約方式改善について、知事宛陳情書を出納長に提出。
- 平成17年12月 県印刷産業政治連盟、第一回総会開催。事業計画案を承認のほか、役員を選任。地域印刷産業界を挙げた体制確立。



10周年記念式典で挨拶する淵上善理事長と式典表彰の方々(昭和43年)



石油パニックで総決起大会(昭和49年 祇園之洲、福祉会館)



金丸三郎知事もご臨席の印刷年始会(昭和52年 林田ホテル)



組合受入研修生ナウル共和国カーリック・アギル君を紹介(昭和59年 城山観光ホテル)



県営印刷局廃止決起大会に230人集結(平成4年 祇園之洲、福祉会館)



8・6水害は業界にも甚大な被害(平成5年8月)



創立40周年記念式典(平成11年9月)



印刷営業士認定講習会(平成16年8月 県青少年会館)



印刷営業士合格証授与式。47名が見事合格(平成16年11月 城山観光ホテル)



鹿児島市地区経営懇談会(平成16年11月 鹿児島市サンエールかごしま)



永年勤続従業員表彰(平成17年5月 ベイサイド・ガーデン)



九州地区印刷協議会をホスト(平成17年3月 城山観光ホテル)



南薩地区経営懇談会(平成17年7月 指宿市、COCOはしむれ)



川薩地区経営懇談会(平成17年8月 薩摩川内市、ホテル太陽パレス)



大久保美幸さん受賞(平成17年7月 ドルフィンポート)



ソフトボール大会(平成17年9月 郡山グラウンド)



ボウリング大会(平成17年9月 国際ボウル)



90回記念ゴルフ大会(平成17年9月 人吉市)



共済事業キャンペーンで当工組が全国表彰を受ける(平成17年10月 新潟市)

創立50周年～10年間の主要な出来事

- 平成18年1月13日 創立50周年記念式典開催、城山観光ホテルで多くの参加者の下、盛大に行われた。
- 平成18年9月21日 デザインマネジメントと印刷業の未来セミナー開催。
- 平成18年10月20日 山口県で開催された全国大会で二年後の全国大会を鹿児島で開催が決定される。
- 平成19年4月5日 「メンタルヘルスケア」セミナー開催。
- 平成19年7月11日 全国大会実行委員会第1回会議開催。
- 平成20年4月～平成23年3月 労働時間等設定改善推進事業受託。
- 平成20年6月18日 MUD(メディア・ユニバーサルデザイン)セミナー開催。
- 平成20年10月17日～18日 2008全日本印刷文化典in鹿児島 城山観光ホテルで盛大に開催。その後の全国大会のモデルとなる。
- 平成21年3月6日 ワークライフバランスセミナー開催。労務管理への啓蒙。
- 平成21年7月22日 知的財産権セミナー、ソフトウェア管理セミナー開催。
- 平成22年1月20日 柳理事長への藍綬褒章受章を祝う会、祝賀会を印刷年始会に併せて開催。
- 平成23年2月22日 愛知県工組、高井理事長を招聘し「儲ける経営 生き延びるために今すること」セミナー開催。
- 平成23年3月17日 東北地方太平洋沖地震に関する災害義援金の募集。
- 平成23年9月5日 事務局移転、並びに新事務所入居契約についての理事会開催。
- 平成23年9月20日 臨時総会開催「事務局移転並びに新事務所入居契約の件」。
- 平成23年10月24日 新事務局(現事務所)にて業務開始。50年以上に亘る旧事務所の歴史に幕が下ろされた。
- 平成23年11月9日 旧事務所解体の為の神事、直会(旧事務所にて)。
- 平成24年8月28日 全国の印刷会社で胆管癌発症が社会問題化し、有機溶剤等危険物の取扱いについて、勉強会開催。
- 平成25年7月23日 組合員の現状から乖離している組合費徴収問題について検討開始される。そして組合費改定委員会第1回会議開催。
- 平成26年3月7日 印刷会社の「著作権」セミナー開催。
- 平成26年9月20日 労働安全衛生法違反の現状の為、シャープ作業員特別教育開催。
- 平成27年3月5日 『印刷道』実践セミナー初級編 開催。
- 平成27年3月6日～7日 九州地区印刷協議会第2回鹿児島定例会を城山観光ホテルで開催。
- 平成27年4月1日 鹿児島県、最低制限価格制度導入。
- 平成27年6月～ 徴収方法全面改定に伴い、新組合費導入。
- 平成27年6月～ 鹿児島県印刷工業組合賛助会員制度を導入、実施。
- 平成28年1月29日 創立60周年記念式典、基調講演、祝賀会、第38回印刷年始会を城山観光ホテルで開催。



各界からの来賓もお招きして開かれた記念式典
(平成20年10月 城山観光ホテル)



熱気あふれる中で行われた記念式典
(平成20年10月 城山観光ホテル)



第33回印刷年始会
(平成23年1月 城山観光ホテル)



最低制限価格制度導入へ向け鹿児島県と折衝
(平成27年2月 県庁)

業界・政策ニュース

紙等資材価格・官公需問題で調査

平成27年8月27日の自由民主党中小印刷産業振興議員連盟の総会において、全印工連から用紙の値上げ問題および官公需に関する各種課題等について説明した際、出席議員から実態を把握すべきとの指摘を受けた。

全印工連では、経済産業省と調査項目の摺り合わせを行い、10月から「用紙等資材価格および官公需問題に関する調査」を全組合員対象に実施した。組合員1,000社からの回答を目標に何度か期限を延長し、最終的に866社から回答を得た。

今後、集計結果を議員連盟議員および経済産業省に提出し、さらに議員連盟総会で結果報告を行って、官公需取引の改善に結びつける予定である。

自民政策懇談会で森永会長が要望

平成27年11月13日正午から自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」が開催された。村井英樹商工・中小企業関係団体委員長が司会進行を務め、西村昭宏団体総局長および田中良生経済産業部会長の挨拶に引き続いて、中小企業関係団体からそれぞれ要望事項の説明を行った。今回は、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、全国商店街振興組合連合会、協同組合連合会日本専門店会連盟、全国青色申告会連合会、全国卸商業団地協同組合連合会、全国工場団地協同組合連合会および全日本印刷産業政治連盟の8団体が呼ばれて、各団体とも3分程度でそれぞれ要望事項を説明した。

森永会長からは、官公需取引に関して、最低制限価格制度の導入、技能検定や技能審査認定制度資格保有者の在籍する企業に入社参加時の優遇措置、環境対策に対する優遇措置など印刷業に特化した要望事項を強く訴えた。

自民党立党60年 盛大に記念式典

平成27年11月29日午後2時から自由民主党立党60周年記念式典がグランドプリンスホテル新高輪で、党所属国会議員や地方議員、歴代総裁など、約3,000人が出席して、盛大に開催された。

冒頭、ゲストとして、ラグビーワールドカップ日本代表の五郎丸歩選手がスピーチして会場を沸かせた。

その後、公明党の山口那津男代表、経団連の榊原定征会長が来賓挨拶、地方議員代表者による決意表明の後、安倍首相(党総裁)が演説、来年の参議院選で輝

ける勝利を得て、次の60年に向かって大きな一歩を踏み出そうと強く決意表明、また、看板政策の1億総活躍社会については、成長と分配の好循環を生み出す新たな経済社会システムの提案であると訴えた。また、TPPの大筋合意については、農業を必ず守る、この約束は必ず果たすと強調した。最後の党歌斉唱と万歳三唱で終了した。

10月の訪日外国人客数が過去最多に

印刷業界も成長の新たな伸びしろとして注目しているインバウンド需要や観光分野。日本政府観光局が平成27年11月に発表した10月の訪日外国人客数(推計)は、前年同月比43.8%増の189万9,000人で、これまでの10月として過去最高だった26年(127万2,000人)を55万7,000人上回った。27年7月の191万8,000人に続き、単月としては過去2番目の数字という。地域別では、カナダ(2万2,000人)、ドイツ(1万9,000人)がそれぞれ、単月として過去最高を更新したほか、ロシアを除く17地域が10月として過去最高となった。

10月までの累計では、中国が428万4,000人となり、全地域で初めて、年間400万人を超えた。

また、台湾(311万5,000人)、インドネシア(16万2,000人)、カナダ(18万9,000人)、フランス(18万4,000人)、イタリア(8万8,000人)スペイン(6万8,000人)がそれぞれ、26年の年計を上回り、27年の累計が前年の年計を超えた地域は11に増えた。

観光局によると、紅葉シーズンの始まりを迎えた10月は、中国の国慶節休暇とも重なり、この時期に向けた訪日プロモーションの効果もあって需要が押し上げられた。また、円安基調の継続と消費税免税制度の拡充による買い物需要、航空路線の拡大、燃油サーチャージの値下がり、中国からのクルーズ船の寄港増加、近年の査証免除や要件緩和などさまざまな好条件が重なった。

「爆買い」で注目される中国からの10月の訪日は、前年同月比99.6%増の44万5,600人で、10月として過去最高。累計428万人に達し、全地域で初めて、累計で400万人を超えた。リピーターを中心とした個人旅行客の増加や、円安、消費税免税制度の拡充による買い物客が需要を乗せたとする。さらに、主要都市での共同広告やネットでの情報発信など、訪日プロモーションも奏功した。26年10月は12隻だったクルーズ船寄港が46隻に増えた。航空便は羽田-広州線や成田-関西-成都線の就航、既存路線の増便が旺盛な需要を支えた。



2015年国内外10大ニュース



国際

- 1位 IS関連テロ続発
米では銃乱射事件
- 2位 欧州へ難民流入
EUで受け入れ論争
- 3位 米キューバ国交回復
断交後初の首脳会談
- 4位 南シナ海で米中緊迫
- 5位 ギリシャ債務 EUが支援
- 6位 米、9年半ぶり利上げ
- 7位 中国主導の投資銀行設立
- 8位 ミャンマー総選挙、政権交代
- 9位 VWの排ガス規制で不正
- 10位 FIFA会長8年活動停止

国内

- 1位 安保法成立
集団的自衛権行使可能に
- 2位 TPP大筋合意
改正農協法も成立
- 3位 辺野古移設工事強行
知事は承認取り消し
- 4位 ISが後藤、湯川氏殺害
- 5位 新国立競技場計画見直し
- 6位 川内原発が再稼働
- 7位 首相が戦後70年談話
- 8位 ノーベル賞に大村・梶田氏
- 9位 ラグビーW杯で日本3勝
- 10位 口永良部島が噴火



© Copyright Reuters 2016. All rights reserved.



来賓ご芳名

鹿児島県	知事	伊藤 祐一郎 様	藤原 文雄 様
鹿児島県	商工労働水産部次長	吉松 富雄 様	松木 勝之 様
鹿児島市	副市長	南宮 路高 様	宮路 誠一 様
鹿児島市	経済局長	奥田 幸雄 様	奥田 平津元 様
日置市	市長	田畑 毅史 様	田畑 園井元 様
いちき串木野市	市長	奥島 隆明 様	奥島 春山 様
薩摩川内市	商工政策課長代理	島津 哲郎 様	島津 西川野 様
株式会社島津興業	取締役相談役	島津 公耕 様	島津 脇崎 様
鹿児島県中小企業団体中央会	副会長	秋元 彦史 様	秋元 田茂 様
鹿児島県中小企業団体中央会	総務企画課課長補佐	愛甲 毅也 様	愛甲 森孝 様
日本銀行鹿児島支店	支店長	中堂 隆 様	中堂 福司 様
株式会社商工組合中央金庫鹿児島支店	支店長	堂平 明 様	堂平 柳崎 様
株式会社日本政策金融公庫 鹿児島支店中小企業事業	総括課長	中山 次郎 様	中山 木村 様
株式会社鹿児島銀行	常務取締役本店営業部長	中山 哲光 様	中山 原健 様
株式会社南日本銀行	取締役営業統括部長	西川 伸一 様	西川 永井 様
鹿児島信用金庫	理事	野脇 修 様	野脇 高藤 様
鹿児島相互信用金庫	執行役員営業推進三部長	野脇 光賢 様	野脇 大迫 様
鹿児島興業信用組合	常務理事	岩崎 茂 様	岩崎 喜久里 様
鹿児島労働局	局長	和田 文 様	和田 均 様
南日本新聞社	経営企画局長	小森 孝宣 様	小森 正継 様
鹿児島県印刷工業組合官公需対策担当顧問	鹿児島市議会議員	福司 介 様	福司 義作 様
鹿児島県議会議員		柳崎 健三 様	柳崎 正道 様
測上印刷(株)	代表取締役会長	岡崎 俊三 様	岡崎 直樹 様
(株)新生社印刷	名誉顧問	岡崎 均 様	岡崎 稔 様
福岡県印刷工業組合	理事長	木村 健三 様	木村 永井 様
佐賀県印刷工業組合	理事長	原 健三 様	原 正道 様
長崎県印刷工業組合	理事長	岩 永井 様	岩 高藤 様
大分県印刷工業組合	理事長	高藤 直樹 様	高藤 喜久里 様
熊本県印刷工業組合	理事長	大迫 均 様	大迫 稔 様
宮崎県印刷工業組合	理事長	喜久里 均 様	喜久里 稔 様
沖縄県印刷工業組合	理事長	野村 均 様	野村 稔 様
株式会社ふちかみ	名誉会長		

友好参加者

医療法人聖心会かごしま高岡病院	理事長	高岡 茂 様	高岡 誠 様
鹿児島県特産品協会	事務局長	池田 智直 様	池田 仁 様
城山観光株式会社	専務取締役	内田 仁 様	内田 亨 様
日本航空(株)鹿児島支店	支店長	二川 幸久 様	二川 孝次 様
山下税理士事務所	税理士	山下 理 様	山下 元 様
公益社団法人鹿児島県観光連盟	総務部長	島川 良 様	島川 石 様
青葉印刷(株)	専務取締役	川路 理 様	川路 元 様
株式会社KRC(富士火災)	集团扱い担当	黒田 孝次 様	黒田 石 様
日米礦油(株)鹿児島支店	販売課	吉田 良 様	吉田 石 様
(株)Misumi	課長	石 良 様	石 孝次 様



関連業界ご芳名

Table listing related industries and their representatives, including companies like 網中, 王子製紙, 九州印刷材料協同組合, etc.



組合関係参加者

Table listing members of the association and their representatives, including companies like 朝日印刷, ビー・エム印刷, 天野印刷, etc.

賛助会員参加者

Table listing supporting members and their representatives, including companies like 富士ゼロックス, 日本プロセスセンター, etc.



記念講演会

演 題

「努力は実る」

講 師

第36代 木村 庄之助

山崎 敏 廣 氏



プロフィール

山崎敏廣 (日本相撲協会立行司第36代木村庄之助)
生年月日: 昭和23 (1948) 年5月16日
出身地: 鹿児島県枕崎市



【職 歴】

- 昭和39年 1月 井筒部屋に行司として入門
- 昭和39年 5月 初土俵、式守 敏廣 襲名
- 昭和39年 7月 序ノ口格
- 昭和41年 11月 序二段格
- 昭和45年 7月 三段目格
- 昭和49年 1月 幕下格
- 昭和60年 1月 十両格 (番付書助手)
- 平成 7年 1月 幕内格 (番付書主任)
- 平成12年 1月 第9代 式守 與之吉 襲名
- 平成18年 1月 三役格
- 平成19年 9月 第10代 式守 勤太夫 襲名 (番付書主任終了)
- 平成20年 5月 立行司 第38代 式守 伊之助 襲名
- 平成23年 11月 立行司 第36代 木村 庄之助 襲名
- 平成25年 5月 定年退職

【功 労 ・ 表 彰 等 受 賞 歴】

- 平成19年 9月 枕崎特別功労賞
- 平成20年 1月 かつお節大使
- 平成20年 11月 枕崎大使
- 平成24年 2月 枕崎市民栄誉賞
- 平成25年 7月 鹿児島県知事褒章 (スポーツ部門)
- 平成25年 11月 南日本文化特別賞 (スポーツ部門)
- 平成25年 12月 日本プロスポーツ功労者文部科学大臣顕彰

【そ の 他】

- 平成26年 2月 著書「大相撲行司さんのちょっといい話」双葉文庫



オープニングアクト

西田千穂 & The PLAYERS

『新春を^{ことほ}寿ぎ、創立60周年を記念してスペシャルユニットが結成されました。気鋭のジャズボーカリスト、西田千穂がこの日のために特別なメンバーと特別なステージをお届けします。』

《演 目》

- Fly me to the moon
- This masquerade
- My favorite things
- 他数曲



田島良一 (piano)

幼少よりクラシックピアノを、サンスルピス大神学院で哲学、教会音楽、オルガンを学ぶ。ヨーロッパ、アメリカ、韓国等海外でも公演し、鹿児島交響楽団等と共演、作品を提供するなどジャンルを超えた活動を展開するジャズピアニスト。GLAYのトシ永井 (dr) とJAZZマエストロ池田芳夫 (bass) とのSuper Swing Group、田島良一トリオ、西田千穂Duo、音生力等様々な活動を続ける。またこの20年に渡る鹿児島出身の若手ミュージシャンにとってJAZZの登竜門としての実績は揺るがないものがある。



西田千穂 (jazz vocal)

鹿児島市出身。熊本大学在学中「モダンジャズ研究会」に所属。卒業後鹿児島に戻り、ジャズピアニスト田島良一氏に師事。今は無き鹿児島のお舗ジャズクラブ「CORONET」 「PANNONICA」で研鑽を積み現在拠点にする「吉次郎」での月例ライブは80回を超える。2005年より鹿児島を中心に活動を開始。森剣治(sax)池田芳夫(bass)トシ永井(dr)荒武裕一朗(pf)奥村和彦(pf)力武誠(dr)丹羽肇(ba)等をはじめ、数多くのミュージシャンと精力的にライブを行う。2012年にはギリシャ・フランス・ドイツを巡るヨーロッパツアーを成功させる。また2013年には平賀マリカ氏(vo)を招き、鹿児島市民文化ホールにてジョイントコンサートを行い好評を博す。昨年5月にファーストアルバム「my boat for...」をリリースした。熱い魂で歌う、まさに鹿児島気質のヴォーカリストである。



香月宏文 (Drums)

1977年宮崎県生まれ。高校卒業後、留学をきっかけに本格的にドラムを始める。2005年ボストンのパークリー音大を卒業後、NYで活動しAriHoenig (アリ・ホニック) に師事。帰国後は、関東中心に辛島文雄トリオ、安保徹、大友義雄カルテット等で活躍。2007年~2013年にかけてUMKフェニックス Jam Night、JAZZトレイン、FMラジオなど様々なイベントやメディアで活躍。現在は宮崎を拠点に全国で活動し、福岡スクールオブミュージックのドラム科講師、宮崎 MusicTech Studioでオーナー兼講師を勤める。主な共演者は辛島文雄、川嶋哲郎、納浩一、多田誠司、TOKU、宮本貴奈、小沼ようすけ等。



小松康 (bass)

東京都出身13歳からエレクトリックベース、17歳からコントラバスを始める。25歳で米国パークリー音楽大学ジャズ作/編曲科卒業後、1989年末に帰国。帰国後すぐ山下洋輔トリオのメンバーとなり、約4年間日本全国はもとより海外で演奏活動。同時に他のグループにも所属し、多くのミュージシャンと共演。山下洋輔トリオ解散後は都内の某音楽専門学校で約7年間、作曲やバンドアンサンブルなどの指導にあたる。7年前に鹿児島県日置市に移住。現在は田島良一トリオ、Time Experienceなどのグループで鹿児島県を中心演奏活動中。演奏のほか作曲も行っている。



2015年 登録

世界歴史遺産 明治日本の産業革命遺産群

旧集成館 集成館とは、28代島津斉彬が富国強兵・殖産興業政策として建設した工場群の総称です。この工場群を中核に取り組みられた近代化・工業化事業を「集成館事業」といいます。

19世紀、欧米列強がアジア諸国を次々と植民地化していくことに危機感を抱いた斉彬は、嘉永4年(1851)に藩主となると、西洋の最先端知識と技能を修得して産業を興し、外国と対等な立場に立てるよう国力を増強するため、仙巖園に隣接する竹林を切り拓き、集成館の工場群を建設します。この「集成館事業」によって近代化されたものは、製鉄・造船事業だけでなく、紡績やガラス、さらに教育・医療・ガスなど多岐にわたり、藩の軍事力の強化のみならず、人々の暮らしの豊かさまでも求めた点が集成館事業の特色です。



鹿児島紡績所技師館

慶応3年(1867)、鹿児島紡績所で技術指導の為に7名のイギリス人を招き、彼らの宿舎として建てられたのが鹿児島紡績所技師館(通称「異人館」)です。江戸時代に建てられた洋風建築で現存するものはきわめて少なく、国指定重要文化財にも指定されています。



関吉の疎水溝

元来、仙巖園には、下田町関吉から園に水を供給するための疎水(吉野疎水)が築かれていました。1852年、島津斉彬はその疎水から新たな水路を築き、約7kmに渡って導水しました。水は、集成館事業の高炉や鎖開台(砲身に穴を開ける装置)などの設備を動かす動力に用いられました。



寺山炭窯跡

集成館事業の反射炉・高炉などに必要な燃料の石炭が産出されない薩摩では、燃料の藩内自給の為に堅木を焼成して木炭を作り燃料としました。寺山に3基炭窯が築かれ、そのうちの1基が今も残っています。ここで焼かれた炭は白炭と呼ばれ、火持ちが良く、高温を発生し、重宝されたと言われています。



反射炉跡

反射炉は燃焼室で燃やした熱・炎を壁に反射させて鉄を溶かすもので、薩摩藩は嘉永5年(1852)に建設に着手しましたが、当時鎖国政策の為、必要なものを輸入することも、専門家を招くこともできず、書物だけを参考に建設するという、他国に例をみない特殊な方法がとられました。



1993年 登録

世界自然遺産 屋久島

縄文杉 1966年5月、上屋久町小杉谷の標高1300m地点で、樹高30m、根廻り43mの縄文杉が発見されました。発見された当時は、発見者(岩川さん)の名前をとって大岩杉と呼ばれていましたが、取材した新聞記者が縄文土器の火焰土器に似ているということからこの名前が付けたとされています。推定樹齢は7200年、世界最古の植物ともいわれていますが、あくまで推定樹齢ですので、確かなことはわかりません。



白谷雲水峽

白谷雲水峽は白谷川のきれいな水をはじめ、屋久島の魅力である照葉樹林や屋久杉など原生林を容易に鑑賞できます。また、映画もののけ姫のしぐみの住む森のモデルとしても使われました。



巨大な一枚岩と千尋の滝

落差は約60m、V字型の巨大な花崗岩の中央を流れ落ちているため、滝が小さく見えてしまうほどのスケールに圧倒されます。左手に見える壁は200m×400mの花崗岩の一枚岩です。



小花之江河

花之江河は日本で最南端にある高層湿原です。枯存木が立ち並び、優雅に聳え立つ黒味岳山頂の風貌を見れば、屋久島ならではの清々しさを味わえます。



大川の滝

落差88mの滝で、日本の滝100選にも選ばれています。大きさ、水量ともに屋久島の滝の中でも最大級を誇ります。吹き上がるしぶきを浴びながら滝壺の真下まで近づくことができます。

鹿児島県印刷工業組合 創立60周年記念式典

〈開催日時〉

平成28年1月29日

〈会場〉

城山観光ホテル



60周年記念式典 16:00~16:30 パールホール天平(4F)
 記念講演会 16:40~17:40 パールホール天平(4F)
 記念祝賀会・年始会 18:00~20:00 ロイヤル・ガーデン(2F)



会場ご案内図

鹿児島空港より車で約40分(高速道路利用)
 鹿児島中央駅より車で約10分
 天文館(鹿児島一の繁華街)より車で約10分